

別紙

I. 事業評価総括表

単位：円

番号	措置名	交付金事業者名又は 間接交付金事業者名	交付金事業に要した費用	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る 整備、維持補修又は 維持運営等措置	安来市	3,862,080	3,862,080	

(備考) 事業が二つ以上の場合には必要に応じ欄を設けること

II. 事業評価個表

番号	措置名	交付金事業名	
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	平野水路改修事業	
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		安来市	
交付金事業実施場所		安来市広瀬町布部	
交付金事業の概要	頭首工改修 一式 ふとんかご設置 44m ハイブロック工 28.5㎡		
総事業費（円）	3,862,080	交付金充当額(円)	3,862,080
交付金事業の成果及び評価	頭首工の改修により水量の管理が容易となった。また、法面の改修に伴い用水路の崩落の危険性が除去された。この改修事業により地元農家の安定した用水確保により、水利関係者の営農活動の促進が図られた。		
交付金事業の実施に伴い締結された売買、賃借、請負その他の契約			
契約の目的		契約の方法	契約の相手方
水路修繕		指名競争入札	株式会社 コンドウ
契約金額（円）			
3,862,080			
成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無			
なし			
本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方			
本事業の実施なし			
交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		なし	

(備考)

- (1) 事業ごとに作成すること。
- (2) 番号の欄には、事業評価総括表における番号欄に対応した数を記入すること。
- (3) 交付金事業の成果及び評価の欄には、進捗度、利用量並びに効果等をできる限り数値を用いて記載すること。
- (4) 契約の方法の欄には、一般競争入札、指名競争入札、随意契約の別を記載すること。
- (5) 成果及び評価に係る第三者機関の活用の有無の欄については、第三者機関を活用した場合にあっては、第三者機関の名称及び構成員等を記載すること。
- (6) 本事業に來年度以降も交付金を充当する場合の本事業に係る基本的な考え方の欄については、來年度以降の本事業の事業の見直し等について記載すること。